



# ハンディターミナル用アプリ

ス キ ャ ン ダ ッ プ

# SCANDUP

ご紹介 & 簡易操作説明



## バーコードを収集し、Wi-Fi でデータ送信する方法

V1.6

### おすすめポイント

- ☑ ハンディターミナルなら、倉庫や施設で持ち歩いてバーコードを読み取りできます
- ☑ 収集データを Wi-Fi で PC に送信できます
- ☑ 簡単に使えます！（本書はもっとも簡単な使い方をご説明します）

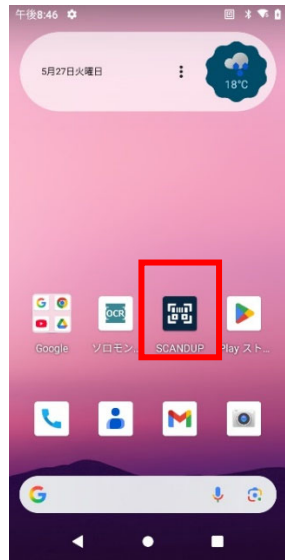
## 目次

1、ハンディ本体アプリ「SCANDUP」でバーコード読み取り.....	3
2、ハンディ本体の Wi-Fi 接続.....	4
3、PC 側 通信ソフト「SCANDUP コネクト」の設定.....	5~6
4、ハンディ本体アプリ「SCANDUP」の通信設定(Wi-Fi 設定).....	7
5、ハンディ本体から PC へデータ送信.....	8
6、PC の受信データ確認.....	9
7、PC が受信したデータファイルの説明.....	10~12

# 1、ハンディ本体アプリ「SCANDUP」でバーコード読み取り

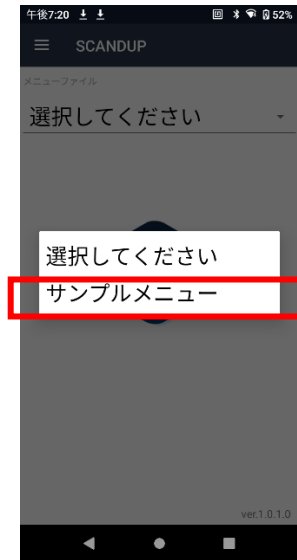
※本体側面の電源ボタン の長しで電源オン/オフになります。

## 1. SCANDUP



【メニュー選択画面に戻る場合】

## 2. サンプルメニュー 「入荷」

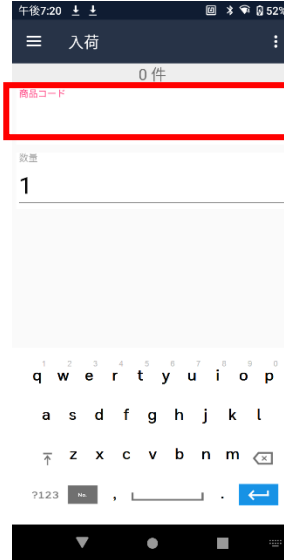


## 3. メニュー選択画面



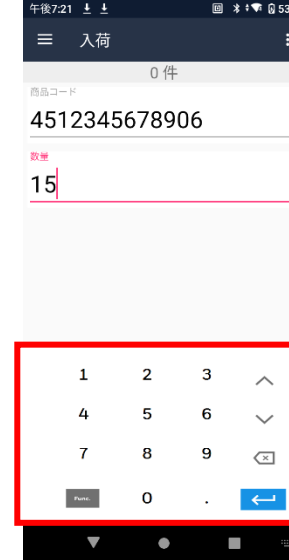
【音が鳴らない場合】

## 4. 商品コード (バーコード) サイドトリガーで読取

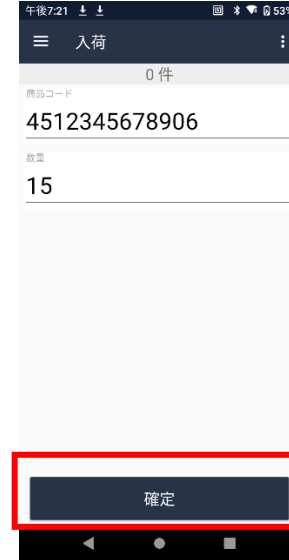


## 5. 数量

数字を入力、**←** を押す



## 6. 確定を押す (4.に戻ります)

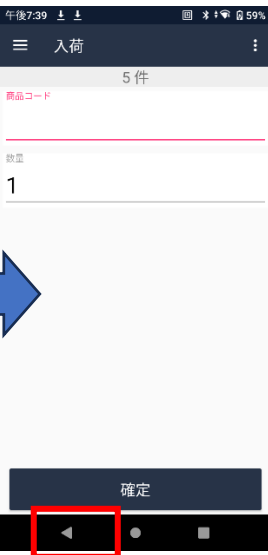


【サンプルメニューについて】

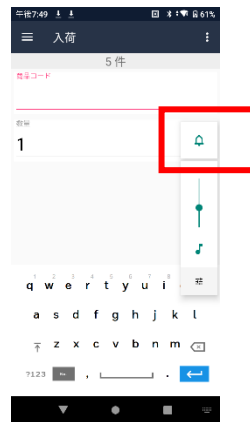
▼を押す



◀を押す



本体左側面の音量ボタンを押し、下記赤枠の箇所をタッチして「ベル」の絵に切り替えて下さい



サンプルメニューは動作をご確認いただくためのものです。メニュー名称や入力項目はお客様ご自身で変更していただけます。設定変更するにはウェブサイト SCANDUP WEB を使用します。



## 2、ハンディ本体の Wi-Fi 接続

1.上にスワイプ

2.設定

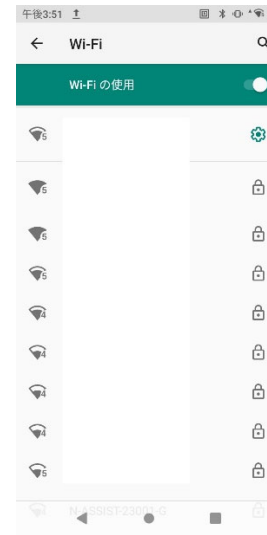
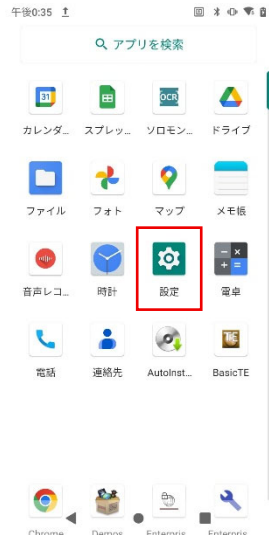
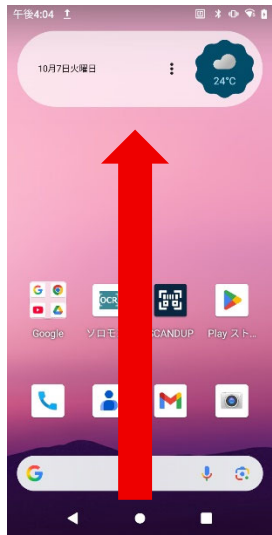
3.ネットワークと  
インターネット

4.Wi-Fi

5.接続先を選択

6.パスワードを入力

●でホームに戻ります



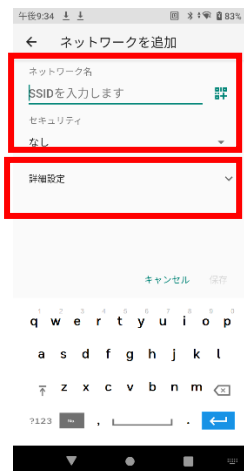
【Wi-Fi(アクセスポイント)の SSID を非表示にしている場合】

1.Wi-Fi 設定画面で 「ネットワークを追加」 「詳細設定」を押す



2.各種設定し

「詳細設定」を押す



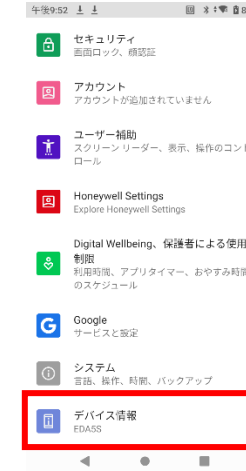
3.非公開ネットワーク  
「いいえ」→「はい」に切替



【Wi-Fi 側でアドレスをフィルタリングしている場合】

1.設定→デバイス情報

「デバイス情報」を押す



2.デバイスの Wi-Fi MAC

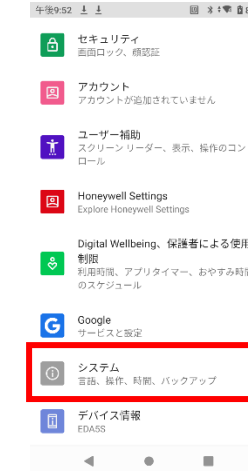
アドレス Wi-Fi 側に設定して下さい



【「接続が制限されています」と出る場合】

設定→システム→日付と時刻


→「ネットワークの時刻を使用する」をオンにする



## 3. PC 側 通信ソフト「SCANDUP コネクト」の設定


1. SCANDUP コネクトを  
PC にインストールする


※下記の手順です

 SCANDUPConnect.zip

SCANDUPConnect.zip を  
右クリック→「すべて展開」

出来たフォルダに下記ファイルが  
あります。

 setup.exe

 Setup.msi

setup.exe(ディスクの絵)を  
右クリック→「管理者として実行」  
→画面に従って進めて下さい

2. SCANDUP コネクトを  
立ち上げる



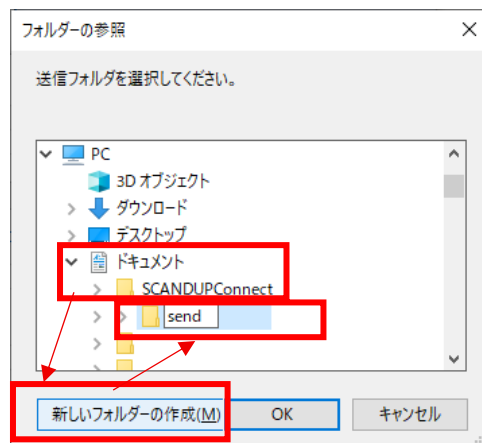
3. 設定



4. 送信場所(PC→HT)右側の「参照」を押す



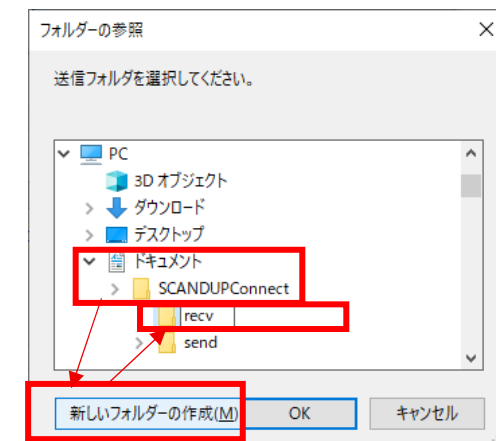
5. ドキュメント内 SCANDUPConnect を  
選択し、「新しいフォルダーの作成」を押す  
「send」という名前を入力→OK



6. 受信場所(HT→PC)右側の「参照」を押す



7. ドキュメント内 SCANDUPConnect を  
選択し、「新しいフォルダーの作成」を押す  
「recv」という名前を入力→OK



## (つづき) 3、PC 側 通信ソフト「SCANDUP コネクト」の設定

## 8. TCP/IP を選択

ホスト IP、ポート番号を確認(この値をハンディ本体に設定します 次ページ参照)

→OK



## 9.自動送受信モード

10.タスクバーに黄色のアイコンが表示されます



【メモ】 PC の「ドキュメント」フォルダ→「SCANDUPConnect」内に、前ページで作成した「send」フォルダと「recv」フォルダが作成されます。フォルダのパスと説明は次の通りです。

C:\Users¥PC のユーザー名(¥OneDrive)¥ドキュメント¥SCANDUPConnect¥send

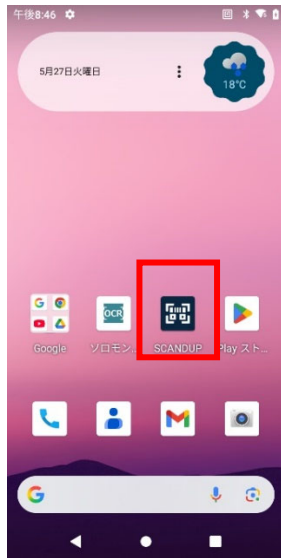
「send」は、ハンディ本体に取り込むマスタデータ(.csv)や設定ファイル(.MNU)を置きます。ハンディ本体で「受信」を行うと、ここからファイルを受信します。

C:\Users¥PC のユーザー名(¥OneDrive)¥ドキュメント¥SCANDUPConnect¥recv

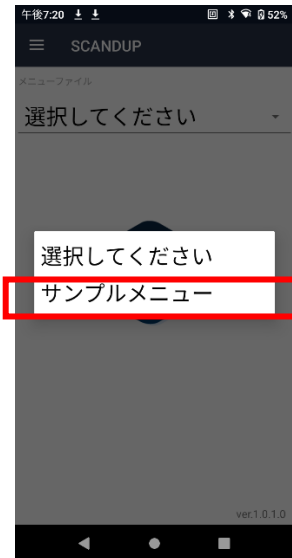
「recv」は、ハンディ本体の保存データを PC に送信すると、ここに入ります。ハンディ本体で「送信」を行うと、ここへファイル(.csv)を送信します。

## 4、ハンディ本体アプリ「SCANDUP」の通信設定(Wi-Fi 設定)

1.SCANDUP



2.サンプルメニュー



3.メニュー選択画面

下にスクロール



4.通信設定メニュー



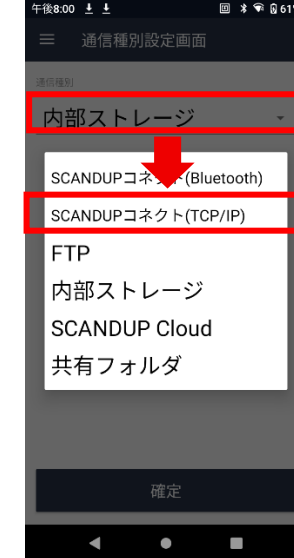
5.通信種別設定

※デモの初期値は内部ストレージ

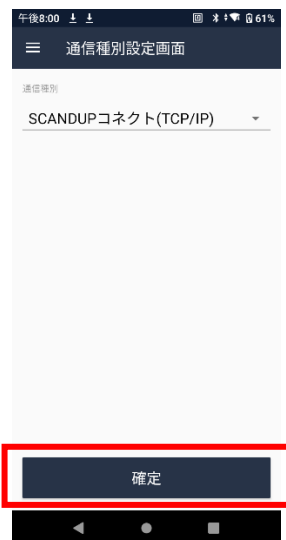


6.SCANDUP コネクト(TCP/IP)

に切り替え



7.確定



8.SCANDUP コネクト (TCP/IP)



9.Host IP、ポート番号を入力



値は PC 側 SCANDUP コネクトの「設定」を確認します  
※前ページ参照

↑ 戻る、戻るを押すと戻ります

10.通信設定メニューに戻る

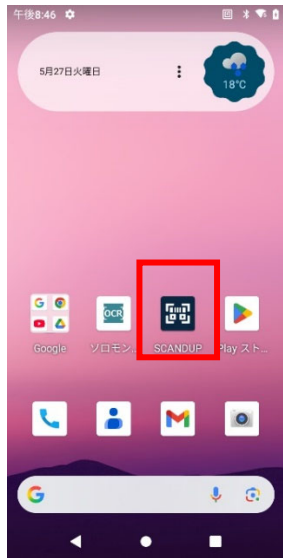


11.メニュー選択画面に戻る

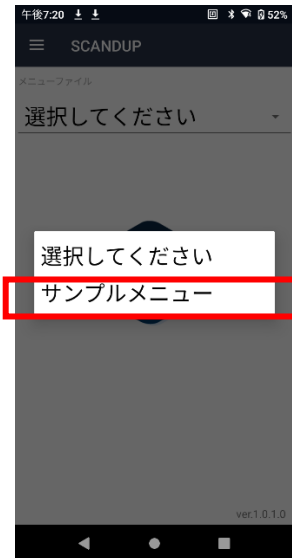


## 5、ハンディ本体から PC ヘータ送信

1.SCANDUP



2.サンプルメニュー



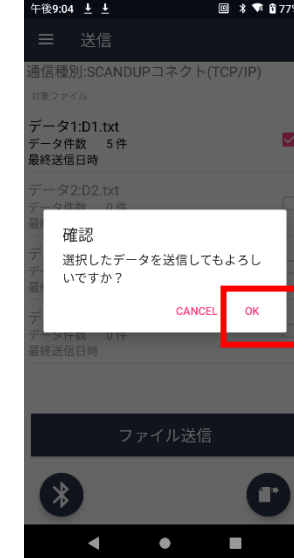
3.メニュー選択画面  
「送信」



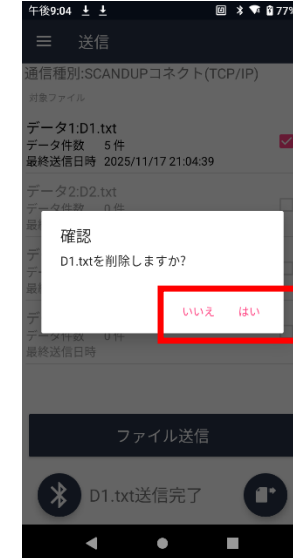
4.「データ 1」を選択  
※「入荷」のデータ



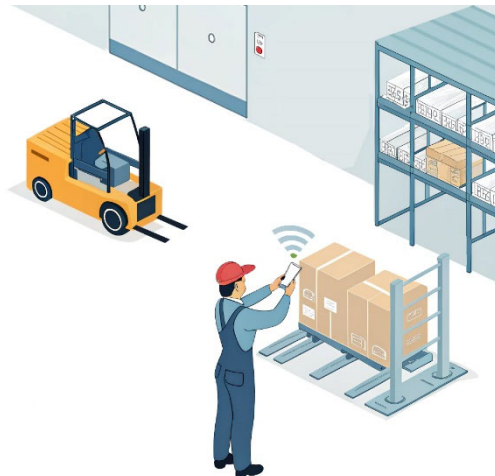
5.OK



6.「削除しますか？」  
「いいえ」「はい」を選択



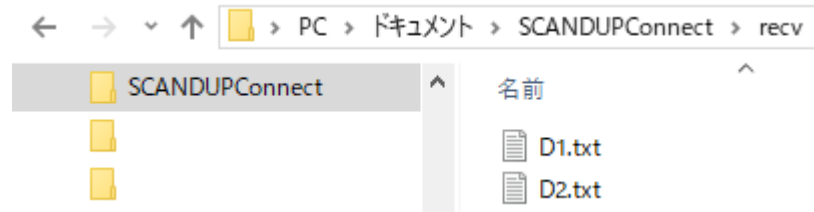
↑、↓、←を押すと戻ります



## 6、PC の受信データ確認

### 1. SCANDUP コネクトのインストール時に作成した

PC の「ドキュメント」→「SCANDUPConnect」→「recv」フォルダを開く



#### 【収集データのファイル名について】

収集データは、メニュー（動作）ごとに異なるファイル名として転送されます。

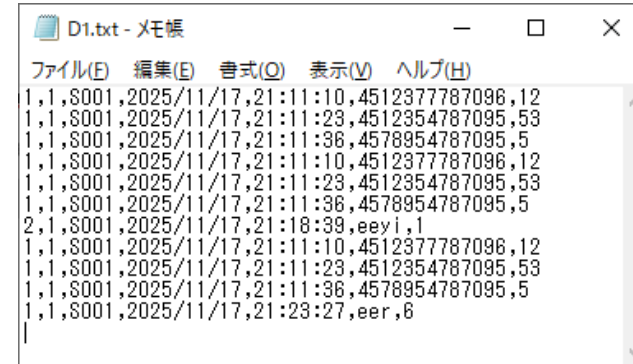
サンプルメニューでは下記のファイル名となっています。

サンプルメニュー	ファイル名
入荷	D1.txt
出荷	D2.txt
棚卸	D3.txt
照合(バーコード)	D4.txt
照合(OCR)	D5.txt

### 2.ハンディから送信したデータがあります

D1.txt が「入荷」で収集したデータです

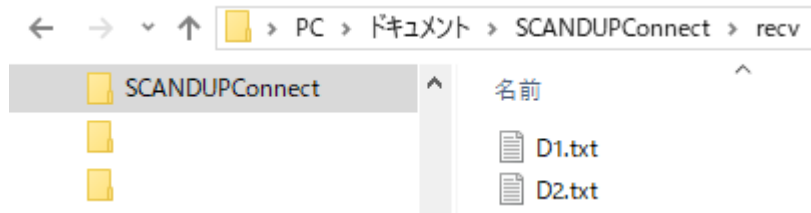
お客様のシステムにインポートするなどしてご利用ください。



## 7、PC が受信したデータファイルの説明

### 【サンプルメニューのデータファイルについて】

PC の「ドキュメント」→「SCANDUPConnect」→「recv」フォルダ内にある「D1.txt」は、ハンディ本体 SCANDUP の「入荷」で収集したデータです。  
ハンディから PC へデータ送信すると、D1.txt 内にデータを追加書き込みします。



### 【データファイルの設定方法】

D1.txt はファイル名を変更することもできます。

設定はウェブサイト「SCANDUP WEB」で行います。

※SCANDUP WEB の設定については別紙参照、またはお問い合わせ下さい。

SCANDUP WEB の設定画面



※SCANDUP WEB で設定変更し、データファイルのファイル名にタイムスタンプを付けることもできます。

例えば DAT1\_T001\_20251117\_101923.csv(DAT1\_ターミナル ID\_日付\_時刻) のようなファイル名になります。

タイムスタンプを付ける場合、送信ごとにファイルが出来ます。

## (つづき) 7、PC が受信したデータファイルの説明

## 【付加情報について】

データファイルの中には、入力情報(バーコードや数量)があります。入力情報の前または後には付加情報があります。

1 件の記録(レコード)は入力情報と付加情報位置で構成されます。入力情報と付加情報位置は次の表の順で構成されます。

## 付加情報位置を「前に付加する」設定(初期値)

フィールド分類	付加情報	付加情報	付加情報	付加情報	付加情報	付加情報	入力情報(※)	付加情報(※)	付加情報
フィールド名称	メニューファイル番号	メニュー番号	ターミナル ID	オペレータ ID	日付	時刻	入力項目(読取/入力データ)	照合結果(※)	マスタファイル
サンプルでの付加	あり	あり	なし	あり	あり	あり	あり	なし	なし
例	1	1	T001	S001	2025/11/17	19:38:08	4512377787096,12	OK(NG)	-

## 付加情報位置を「後に付加する」設定

フィールド分類	入力情報(※)	付加情報(※)	付加情報	付加情報	付加情報	付加情報	付加情報	付加情報	付加情報
フィールド名称	入力項目(読取/入力データ)	照合結果(※)	メニューファイル番号	メニュー番号	ターミナル ID	オペレータ ID	日付	時刻	マスタファイル
サンプルでの付加	あり	なし	あり	あり	なし	あり	あり	あり	なし
例	4512377787096,12	OK(NG)	1	1	T001	S001	2025/11/17	19:38:08	-

## 【例】

サンプルメニュー「入荷」のデータ D1.txt の例です。付加情報位置は「前に付加する」設定の場合です。4512377787096 はバーコード、12 は個数です。

1,1,S001,2025/11/17,21:11:10,4512377787096,12

## 【付加情報の設定】

付加情報位置は「前に付加する」または「後に付加する」を設定できます。

任意の付加情報のみ付加することもできます。

設定はウェブサイト SCANDUP WEB で行います。

設定作成後、ハンディ本体に設定します。

SCANDUP WEB の設定については別紙参照、またはお問い合わせ下さい。

## SCANDUP WEB の設定画面

サンプルメニュー / メニュー1:入荷 / 機能設定

戻る
▼設定

名称

機能

確定メッセージ表示あり

データ(読取)ファイル設定

ファイル番号

付加情報位置

メニューファイル番号
  メニュー番号
  ターミナルID
  オペレータID
  日付
  時刻
  マスタデータ

## (つづき) 7、PC が受信したデータファイルの説明

## 【フィールド名称の説明】

## メニューファイル番号:

SCANDUP は複数のメニューファイルを持つことが出来ます(右図)。その何番目のメニューファイルかの番号です。

図の場合「サンプルメニュー」で入力したデータは「1」、「サンプル 2」で入力したデータは「2」となります。

## メニュー番号:

メニューファイル内の、各メニューの番号です。サンプルでは「入荷」が 1、「出荷」が 2、のようになっています。

## ターミナル ID:

ハンディ本体の識別情報です。付加あり、付加なし、は PC 側の SCANDUPWEB で設定します。

ターミナル ID の文字はハンディ本体の SCANDUP の左上☰→「アプリ共通設定」→「共通設定」→「ターミナル ID」で設定します。

初期値は T001 です。

## オペレータ ID:

ハンディ本体のもう1つの識別情報です。付加あり、付加なし、は PC 側の SCANDUPWEB で設定します。

オペレータ ID の文字はハンディ本体の SCANDUP の左上☰→「アプリ共通設定」→「共通設定」→「オペレータ ID」で設定します。

初期値は S001 です。

## 日付、時刻:

バーコード読み取りや数量入力した日付と時刻です(レコードを記録した日付と時刻)。

## 入力項目:

スキャナで読み取ったバーコード/OCR のデータや、キーボードで入力した数量などです。メニューにより内容(フィールドの数)は異なります。

## 照合結果:

照合に関わる動作のとき、自動で OK または NG を追加します。出力あり/なしの設定はありません。

## マスタファイル:

PC からハンディ本体に受信したマスタファイルです。マスタファイルを使用していない場合は出力しません。

複数のメニューファイルを持つ場合  
のメニューファイル選択画面

